

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月19日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社 シェナリゾート		
事業所名	グループホーム「ことぶき」		
所在地	旭川市3条通2丁目1973番地10 (電話) 0166-31-1165		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年12月19日	評価確定日	平成19年12月27日

【情報提供票より】(平成19年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年2月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	11人, 非常勤 8人, 常勤換算 13.7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	18,000~24,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,315 円		

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	6 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 83.6 歳	最低	76 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	木原循環器科内科医院 たかがき歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

バイタルチェックや水分・食事摂取量などのケア記録は、都度PC入力されて一元管理され業務の効率化とケアサービスに専念できる体制が整備されています。また、共用空間には、ホーム主催の夏祭りの様子や紅葉狩り、敬老会参加の写真が掲示され来訪者にホームの活動を理解して戴く工夫もされています。畑では野菜が作られていたり、道の駅や忠別ダム、遊水館などへのドライブで外出の機会も多くつくられ気分転換や心身のリフレッシュができる取り組みも積極的に行われています。運営推進会議では、利用者と同じ食事が委員にも提供されて、食事についても意見交換もされてケアサービスの質の向上に活かされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、栄養バランスの把握についてあげられていましたが、市の保健所に相談・連携しながら一日あたりの栄養・エネルギーの把握や体重1.0kg当りの消費エネルギー、水分摂取量、体重別栄養摂取量など改善に取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、施設長・管理者及び全ての職員が参加して取り込まれ、新たな気付きや研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については家族や運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在4回実施されています。議題については感染症予防について(インフルエンザ予防接種について) 火災避難訓練について(地域との協力体制) 緊急連絡網の有効性訓練について 自己評価・外部評価の改善点について 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) ことぶきタイムス「福寿草」を季節毎に発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、外出の際の楽しい姿や金銭管理など明細と共に家族に報告して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、家族会では職員、利用者が参加した食事が定期的に開催されて親睦が図られています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 消防署の協力を得て、町内会役員や地域の人達が参加して消火器使用方法の指導・実地訓練を開催して、日頃より協力が得られる取り組みやホーム主催の行事に近隣の保育園児を招待したり、夏祭りを開催して町内の人達との交流に取り組んだり、日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、利用者がその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげ実践している。また、玄関や共用空間に理念が掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設長・管理者、職員は、理念の重要性を理解し、共有してその達成に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム主催の行事に近隣の保育園児を招待したり、夏祭りを開催して町内の人達との交流に取り組んだり、日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。		特筆すべき点として、消防署の協力を得て、町内会役員や地域の人達が参加して消火器使用方法の指導・実地訓練を開催して、日頃より協力が得られる取り組みが行われている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、施設長・管理者及び全ての職員が参加して取組まれ、新たな気付きや研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については家族や運営推進会議に報告され改善の機会として取組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在4回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、施設長及び管理者・職員で構成され、火災避難訓練や緊急時の地域との協力体制について具体的に話し合わせ取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>施設長及び管理者は、市と連携の重要性について充分理解し、日々取り組んでいる。また、保健所と栄養バランスなどについて相談・連携しながらケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ことぶきタイムス「福寿草」を季節毎に発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、外出の際の楽しい姿や金銭管理など明細と共に家族に報告して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。</p>		<p>家族会では職員、利用者が参加した食事が定期的に開催されて親睦が図られています。また、ことぶきタイムス「福寿草」の出来栄が素晴らしいです。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会の活動も定期的に行われていたり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる体制を整えて、そこでの意見を運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように取り組まれている。また、施設長は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会やケア研究会、市主催の講習会などの外部の研修参加を積極的に奨励して参加者の報告会で職員間の共有が行われている。また、地域包括支援センターとの協働や職場内でOJT、OFF-JTが実施され職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会やケア研究会で他施設と事例研究などの交流が行われサービスの質の向上に取り組まれている。		包括支援センターと協力して、講習会の開催や事例発表会が行なわれている。今後は、さらに包括支援センターと密に連絡・協力体制を深めていく計画が検討されている。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	地域に根ざした活動がされているグループホームであり、利用者及び家族の信頼は厚い。また、本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と、百人一首や、麻雀、食事の準備や漬物漬けなどをして一緒に過ごしている。また、利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握して、畑作業や散歩、買物、忠別ダムや道の駅までのドライブなどの外出の機会を多く作ったり、本人の思いや意向を尊重した支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いや意向を把握して、散歩や買い物、花菜里ランドや遊水館までのドライブ、イチゴ狩りなど積極的に外出の機会を多く作ったり、百人一首や習字などの趣味への支援など取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	センター方式を採用して、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報やカンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		特筆すべき点として、バイタルチェックや水分・食事摂取量、排泄・排尿などのケア記録は、都度PC入力でシステム化されて一元管理され業務の効率化とケアサービスに専念できる体制が整備されています。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には詩吟教室への送迎や散歩、買い物など柔軟に支援を行っている。また、家族の宿泊支援や外泊支援、理美容院への送迎など時々々の要望にも対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医や常勤する看護師との連携で、気軽に相談できる医師・看護師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、協力医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談しながら慎重に対応するよう職員間で共有されている。		今後は、看取りについて研修課題として職場内で教育研修の計画が検討されている。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけなど取り組まれている。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重して、散歩、習字や手芸、百人一首や麻雀、カラオケ、食事の手伝いや漬物漬けなど本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて、一緒になって楽しんで食事の準備や後片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めずに週3回を目安に利用者の希望や要望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、観葉植物の水遣りや生け花、畑での野菜の収穫、麻雀や囲碁、百人一首や油絵、ラーメンなどの外食や買い物、気分転換のための紅葉見物や遊水公園までのドライブなど外出の機会も多くつづられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩や買い物、敷地内での昼食やティータイム、畑作業、いちご狩りや紅葉見物、遊水公園までのドライブなど気分転換ができるように積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得て、町内会役員や地域の人達が参加して消火器使用方法の指導・実地訓練を開催して、日頃より協力が得られる取り組みが行われている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>市の保健所に相談・連携しながら一日あたりの栄養・エネルギーの把握や体重1.0kg当りの消費エネルギー、水分摂取量、体重別栄養摂取量など改善に取り組まれています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広い廊下や居間では、利用者が気になる臭いや音の大きさは感じられない。また、和室のコーナーも設けられ一人になったり利用者同士談笑できるスペースや百人一首などのゲームが楽しめるスペースも用意されている。ホーム前の敷地内では、昼食を摂ったりティータイムでお茶を楽しんだり季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は広く、家族との談笑や習字や手芸などの趣味を楽しめる場となっている。また、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ家族の写真や行事参加の様子やドライブなどの写真が飾られたり、趣味の手作りの作品が飾られている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。